

## 第5回組織委員会 議事録

【日時】 2023年1月19日(木) 13:00 ~ 17:00

【会場】 日本代協事務局 Zoom開催

【出席者】 藤山委員長

北海道	松田	北東北	千葉	南東北	蘆田	上信越	高橋(貞)
東関東	四反田	南関東	豊	東京	佐藤	東海	眞木
北陸	河野	近畿	高橋(範)	阪神	山口	東中国	栴田
西中国	松井	四国	高本	九州北	沖田	九州南	下地

オブザーブ：中島副会長

【司会】 豊副委員長 【事務局】 小見常務、坂特命部長 【議事録】 事務局

### <委員会要旨 確認・決定事項>

#### 1. 「年度末に向けて」【確認】

各行動の集大成として、目標達成に向けた取組を推進する。

「±ゼロ以上キャンペーン」は、最後まで諦めることなく追いかけ、その結果が今後につながることを意識する。

#### 2. 「新年度対応」【確認】

4月年度当初から、長崎福井モデルを前提にした行動結果にこだわる。

数字ありきではなく、好事例収集と素早く真似ることを中心とする。

#### 3. 「キックオフ」【決定】

4月21日全国組織委員会一斉ミーティングを新年度のキックオフとする。

そのための意見を集約し、意義のあるミーティングとする。

#### 4. 「会員になる場合の資格の考え方」【確認】

別個登録、出先機関登録代理店の理解確認を行い、正会員資格に留意することを説明し、「会員資格・会費の考え方(20年3月作成)」資料を共有した。

業法276条により登録されていることが基本であることを確認した。

代理店登録番号・記号(代申社によっては財務局登録番号という)を確認していただきたい。同一法人の支店等の出先機関で、この番号が本店と同一の場合は276条登録ではなく、正会員となれない。

### 議事

#### 1. 中島副会長 挨拶

#### 2. 藤山委員長 挨拶

- ・アフラック出入り業者を発端とする情報漏洩発生。他人事でなく自身課題として留意してもらいたい。
- ・各目標は、最後まであきらめない姿勢を堅持。その活動が今後につながる。
- ・4月新年度は期初から長崎福井モデルを前提にした数字に拘る。
- ・4月21日全国組織委員会一斉ミーティングを新年度のキックオフとする

#### 3. 「取組発表」

前回報告以降の有効な取組について発表

- ・沖縄では保険会社の代協担当者との会議を開催した。賠償セミナーや会員紹介ではなく、「保険会社社員から見た代理店のいいところ悪いところ」「代理店から見た保

険会社のいいところ悪いところ」を事前アンケート集約し意見交換。ざっくばらんな対話でこそ相互の理解が深まっており、内容を会員に共有する。次週賀詞交歓会では保険会社の社員の動員に成功しており、代協はこのような組織なんだとの理解が深まっていることを認識している。熊本では、代理店価値研究会を開催し、組織委員長が、保険会社社員向けに賠償セミナーを実施する。その主テーマとして「あなたの担当する代理店さんは大丈夫ですか？何かあった時困りませんか？」を前面に押し出している。ブロック会議にも保険会社担当者と呼んではどうか、より保険会社にみてもらいたいとの意見が出ており、ブロックで協議する。(九州南)

- ・2月福岡で事業継続力強化計画セミナーを開催、支部活性化と代理店品質向上を主題とし、3会場開催でジギョケイの申請まで終える段取り。(九州北)
- ・12月ブロック協議会をリアル開催。愛媛は支部単位での追込み活動を実施。高知はリアル賀詞交換会を3年ぶりに開催。(四国)
- ・コンベンションについて、参加して良かったとの意見多数。今後は次期役員候補者をぜひ参加させたい。賠償セミナーを年二回開催することで保険会社の参加者誘導が着実に進んでいる。地道な取組としての重要性を確認した(西中国)
- ・岡山は、保険会社向け代賠セミナーを開催し継続対応中。鳥取では入会1店達成を軸に±ゼロ以上キャンペーンを意識した取組に切り替え。コロナ影響で賀詞交歓会が開催不能となったが保険会社との意見交換会に切り替え情報共有実施(東中国)
- ・大阪和歌山は達成、兵庫は±ゼロを意識し取組む。賠償セミナー参加の代理店と保険会社担当者へのフォローを展開中(阪神)
- ・奈良では新春セミナーと賀詞交歓会を3年ぶりに開催し、保険会社支店長、支社長に3冠達成の報告御礼を実施。新春セミナーは、橿原神宮の儀式殿を使用し開催。3年度に渡るTP認定授与式を行い出席者のモチベーションアップと代協の雰囲気を感じてもらえた。(近畿)
- ・福井は仲間づくり目標を達成した上での±ゼロを愚直に展開。賀詞交歓会では保険会社への協力要請を実施した。(北陸)
- ・三重岐阜は±ゼロに注力している。愛知は、芸能人を呼んでのセミナーに補助金を活用(\*働き方改革推進支援助成金)。コンベンションの評価が高く、もっと若手を参加させたいと考えている。その前提活動として2月3、4日に藤山委員長を招いて役員ではない若手メンバーの交流会を実施する。A D2年以内新設代理店名簿から10店訪問し、入会2店承諾を確保(東海)
- ・12月2日代理店賠償セミナーのアンケートから抽出した代理店に個別に働きかけを実施。8支部長がフォロー実施中。1月16日東京ブロックセミナーではTP新規認定者授与式を開催し、3名の新規TPに登壇してもらい取得後の募集に活かしていく点や取得きっかけを披露してもらった。(東京)
- ・山梨は達成間近で活動中。11月セミナーに呼応した動きとして、1月賀詞交換会では、保険会社ごとのテーブルを設置し保険会社対抗心の煽りを実施。(南関東)
- ・保険会社訪問は確実に実施されている。栃木では会長、専務理事及び各保険会社の主要代理店が同行し、6社訪問実施。千葉茨木埼玉も同様行動を推進(東関東)
- ・長野で2月に成島セミナーを実施し、新潟群馬が合流する。(上信越)
- ・1月27日山形新春セミナーに藤山委員長に参加してもらった。4月14日代理店賠償セミナーを合同開催で準備中。3県合同の共栄社代理店会で紹介動画を放映予定。福島のアナウンス展開を山形でも連携。(南東北)
- ・1月12日会長、組織委員長が同行し保険会社4社を訪問。コンサルコース、会員紹

介依頼を実施している。(北東北)

- ・12月7日代理店賠償セミナー開催後、1月20日新年交礼会案内で会長、支部長同行訪問で賠償セミナーと必要性を社員にも訴求するよう要請。未入会代理店には資料を送付するなどの工夫を行いながら随時フォローを実施。新年交礼会に保険会社も参加するため会長と共に最後のお約束取り付けを行う。±ゼロは最後まで追いかける。(北海道)

#### 4. 藤山委員長から個別項目説明を実施

- ・「三冠王」  
達成代協の発表
- ・「±ゼロ以上キャンペーン」  
退会理由の課題を再認識し対応してもらいたい。意識した取組をお願いする。
- ・「New 日本代協アカデミー」  
4月新アカデミー加入における激変緩和措置等の説明を行い、代協加入の武器として提案してもらいたい。
- ・「会員になる場合の資格の考え方」  
上記確認事項欄に記載のとおり  
\* 代協 HP 書庫搭載 「会員資格・会費の考え方(20年3月作成)」資料

#### 5. 「代理店賠償」 チャブ保険鈴木部長

#### 6. 「4月21日組織委員会全国一斉ミーティングについて」

従来のブロック組織委員会の枠組みを排し、新たなメンバーで議論を行った。

- ・一斉ミーティングの開催時間
- ・共有すべき事項の確認
- ・推進方法

松田部屋	北陸	西中国	九州北
四反田部屋	上信越	東海	近畿
豊部屋	東京	四国	九州南
山口部屋	北東北	南東北	東中国

提案された各意見を参考にして、意義あるミーティングとすることを確認した。

- ・前回一斉ミーティングを振り返り、自己紹介時間を短縮し本質議論にあてる
- ・分散討議は必ず実施したい
- ・2時間集中の方が集中できるのではないか
- ・年2回開催でもよいのではないか

#### 7. 日本代協連絡

#### 8. 中島副会長 挨拶

#### 9. 藤山委員長 挨拶

\* 次回委員会開催日：2023年4月21日(金)13:00~17:00

以上